

清瀬 高等学校 令和7年度（2 学年用） 教科 保健体育 科目 保健

教 科： 保健体育 科 目： 保健 単位数： 1 単位

対象学年組： 第 1 学年 1 組～ 7 組

教科担当者： （1 組：）霜田 （2 組：）井ノ口 （3 組：）福家 （4 組：）霜田 （5 組：）福家 （6 組：）井ノ口 （7 組：）霜田

使用教科書： （ 現代高等保健体育 大修館書店 ）

教科 保健体育 の目標：

【 知 識 及 び 技 能 】 各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けるようにする。

【 思考力、判断力、表現力等 】 運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。

【 学びに向かう力、人間性等 】 生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

科目 保健 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付けるようにする。	健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。	生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	A 生涯を通じる健康 【知識及び技能】 思春期と健康、妊娠や出産についての課題を理解し、その解決を目指した活動を通して、知識及び技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 思春期と健康、性意識と性行動の選択、妊娠や出産と健康や避妊法と人工中絶に関連する内容について、知識を基に改善策等を考え、的確に他者に伝えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 明るく豊かな生活を営む態度を身に付けるため、授業内容を自分自身に置き換えて学びを深めることができる。	・ ライフステージと健康 ・ 思春期と健康 ・ 性意識と性行動の選択 ・ 妊娠・出産と健康 ・ 避妊法と人工妊娠中絶 ・ 一人 1 台端末の活用 等	【知識・技能】 ・思春期における心身の変化、および健康課題について理解する。性意識の男女差、性に関する情報が性行動の選択に影響を及ぼすことについて理解する。 【思考・判断・表現】 生涯を通じる健康における事象や情報などについて、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見すること。・思春期と健康について、習得した知識を基に、心身の発達や性的成熟に伴う健康課題を解決するために、性に関する情報を適切に整理すること。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・板書内容等を理解し、工夫して記録を残している。・端末を活用し、テーマにそった調べ学習に取り組める。・他者の意見を傾聴し、自分の意見を再考しようとする。	○	○	○	7
	B 生涯を通じる健康 【知識及び技能】 結婚生活や中高年期、働くことと健康や労働災害についての課題を理解し、その解決を目指した活動を通して、知識及び技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 結婚生活や中高年期、働くことと健康や労働災害に関連する内容について、知識を基に改善策等を考え、的確に他者に伝えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 明るく豊かな生活を営む態度を身に付けるため、授業内容を自分自身に置き換えて学びを深めることができる。	・ 結婚生活と健康 ・ 中高年期と健康 ・ 働くことと健康 ・ 労働災害と健康 ・ 職業生活 ・ 一人 1 台端末の活用 等	【知識・技能】 ・結婚生活について、心身の発達や健康の保持増進の観点から理解する。・労働による傷害や職業病などの労働災害は、作業形態や作業環境の変化に伴い質や量が変化してきたことを理解する。 【思考・判断・表現】 結婚生活と健康について、結婚生活に伴う健康課題の解決や生活の質の向上に向けて、保健・医療サービスの活用方法を整理することができる。・働く人の健康の保持増進について、習得した知識を基に、生活の質の向上を図ることと関連付けて、課題解決の方法に応用することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・板書内容等を理解し、工夫して記録を残している。・端末を活用し、テーマにそった調べ学習に取り組める。・他者の意見を傾聴し、自分の意見を再考しようとする。	○	○	○	7
	定期考査			○	○		1
2 学 期	A 健康を支える環境づくり 【知識及び技能】 大気汚染や水質汚濁、土壌汚染についての課題を理解し、その解決を目指した活動を通して、知識及び技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 大気汚染や水質汚濁、土壌汚染、環境と健康にかかわる対策に関連する内容について、知識を基に改善策等を考え、的確に他者に伝えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 明るく豊かな生活を営む態度を身に付けるため、授業内容を自分自身に置き換えて学びを深めることができる。	・ 大気汚染と健康 ・ 水質汚濁、土壌汚染と健康 ・ 環境と健康にかかわる対策 ・ 一人 1 台端末の活用 等	【知識・技能】 ・人間の生活や産業活動は、大気汚染、水質汚濁、土壌汚染などの自然環境汚染を引き起こし、健康に影響を及ぼしたり被害をもたらしたりすることについて理解する。・健康への影響や被害を防止するためには、汚染物質の排出をできるだけ抑制したり、排出された汚染物質を適切に処理したりすることについて理解する。 【思考・判断・表現】 ・人間の生活や産業活動などによって引き起こされる自然環境汚染について、事例を通して整理し、疾病等のリスクを軽減するために、環境汚染の防止や改善の方策に応用することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・板書内容等を理解し、工夫して記録を残している。・端末を活用し、テーマにそった調べ学習に取り組める。・他者の意見を傾聴し、自分の意見を再考しようとする。	○	○	○	6
	B 健康を支える環境づくり 【知識及び技能】 ごみの処理と上下水道、食品の安全性、食品衛生についての課題を理解し、その解決を目指した活動を通して、知識及び技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 ごみの処理と上下水道、食品の安全性、食品衛生に関連する内容について、知識を基に改善策等を考え、的確に他者に伝えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 明るく豊かな生活を営む態度を身に付けるため、授業内容を自分自身に置き換えて学びを深めることができる。	・ ごみの処理と上下水道の整備 ・ 食品の安全性 ・ 食品衛生にかかわる活動 ・ 一人 1 台端末の活用 等	【知識・技能】 ・人々の健康を支えるためには、食品の安全性を確保することが重要であり、食品の安全性が損なわれると、健康に深刻な被害をもたらすことがあり、食品の安全性を確保することは健康の保持増進にとって重要であることについて理解する。 【思考・判断・表現】 ・食品の安全性と食品衛生に関わる活動について、習得した知識を自他の日常生活に適用して、健康被害の防止と健康を保持増進するための計画を立てることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・板書内容等を理解し、工夫して記録を残している。・端末を活用し、テーマにそった調べ学習に取り組める。・他者の意見を傾聴し、自分の意見を再考しようとする。	○	○	○	6
	定期考査			○	○		1
3 学 期	C 健康を支える環境づくり 【知識及び技能】 保健サービスや医療サービス、医薬品の制度についての課題を理解し、その解決を目指した活動を通して、知識及び技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 保健サービスや医療サービス、医薬品の制度に関連する内容について、知識を基に改善策等を考え、的確に他者に伝えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 感染症への理解を実生活に活用し、明るく豊かな生活を営む態度を身に付けるため、授業内容を自分自身に置き換えて学びを深めることができる。	・ 保健サービスとその活用 ・ 医療サービスとその活用 ・ 医薬品の制度とその活用 ・ 一人 1 台端末の活用 等	【知識・技能】 ・我が国には、人々の健康を支えるための保健・医療制度が存在し、行政及びその他の機関などから健康に関する情報、医療の供給、医療の保障も含めた保健・医療サービスなどが提供されていることについて理解する。 【思考・判断・表現】 ・医薬品の制度とその活用について、医薬品には承認制度があり、販売に規制が設けられていることと関連付けながら、生活の質の向上のために利用の仕方を整理することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・板書内容等を理解し、工夫して記録を残している。・端末を活用し、テーマにそった調べ学習に取り組める。・他者の意見を傾聴し、自分の意見を再考しようとする。				3
	D 健康を支える環境づくり 【知識及び技能】 保健活動と社会的対策、健康に関する環境づくりと社会参加についての課題を理解し、その解決を目指した活動を通して、知識及び技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 保健活動と社会的対策、健康に関する環境づくりと社会参加に関連する内容について、知識を基に改善策等を考え、的確に他者に伝えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 救命するには迅速な対応が必要であることを理解し、授業内容を自分自身に置き換えて学びを深めることができる。	・ さまざまな保健活動と社会的対策 ・ 健康に関する環境づくりと社会参加 ・ 一人 1 台端末の活用 等	【知識・技能】 ・我が国や世界では、健康を支えるために、健康課題に対応して各種の保健活動や社会的対策が行われていることについて理解する。・自他の健康を保持増進するには、ヘルスプロモーションの考え方に基づいた、健康に関する環境づくりが重要であることについて理解する。 【思考・判断・表現】 ・ヘルスプロモーションの考え方に基づいた、健康に関する環境づくりへ積極的に参加していくために、適切な情報を選択・収集して、分析・評価し計画を立てることができる。・健康を支える環境づくりについて、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・板書内容等を理解し、工夫して記録を残している。・端末を活用し、テーマにそった調べ学習に取り組める。・他者の意見を傾聴し、自分の意見を再考しようとする。				3
	定期考査			○	○		1
							合計
							35